

■■メールマガジン「静岡県防災」第38号■■

『2023年 関東大震災100年』 次の100年への備え
～過去に学び、次世代へつなぐ～

今年、大正12年（1923年）に発生した、関東大震災から100年の節目に当たります。関東大震災は、発生日でもある9月1日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となった未曾有の災害です。

関東大震災は、9月1日11時58分に発生した、大正関東地震（マグニチュード7.9と推定）によってもたらされ、首都圏では震度6を観測したほか、北海道道南から中国、四国地方にかけての広い範囲で震度5から震度1を観測しました。

被害は家屋の倒壊、山間部における崖崩れなどの土砂災害、沿岸部での津波被害など多岐にわたり、また、発生時刻が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、東京の下町を中心に大規模な延焼火災が発生しました。

この地震により全半壊、消失、流出、埋没の被害を受けた住家は総計約37万棟にのぼり、死者・行方不明者は約10万5000人に及びました。

県内でも、伊東で3m余り、熱海で6m程の津波が発生したと記録されており、県東部地域を中心に444名の犠牲者、9千棟を超える住家被害が発生しました。

内閣府では、「関東大震災100年」特設ホームページを開設し、関東大震災の関連資料や、様々な団体が実施する関東大震災100年関係の行事等について情報を掲載しています。

関東大震災から学び、防災について考えてみましょう。

「関東大震災100年」特設ホームページ

URL : <https://www.bousai.go.jp/kantou100/index.html>